

直近の世論調査から－2017.11.6(第48回衆議院選挙…躍り出た立憲民主党)

1. 突然の解散総選挙…自民・社民が現状維持。立憲民主党のみが躍進し、その他（公明・希望・維新・共産）が敗北という結果に

各党の当選者数

	小選挙区	比例区	合 計	公示前
自民	218	66	284	284
公明	8	21	29	34
希望	18	32	50	57
維新	3	8	11	14
立憲	18	37	55	15
共産	1	11	12	21
社民	1	1	2	2
こころ	-	0	0	0
諸派	0	0	0	0
無所属(与)	1	-	1	11
無所属(野)	21	-	21	27
無所属(他)	0	-	0	0
計	289	176	465	残議席 0
定数	289	176	465	

定数10減。当選者には無所属からの追加公認を含む(自民3人、立憲1人)。無所属は与党系、野党系、その他に分類

安倍首相の突然の解散に

	賛成	反対
共同9.24trend	23.7	64.3
日経9.25	28	56
朝日9.28	21	57
読売9.30	22	65
NHK10.2	27	67
ANN10.2	20	65
NHK10.10	29	65
JNN10.16	21	75
FNN10.16	22.7	69.0
平均	23.8	64.8

衆院選挙の期待する結果

読売10.9	①自民党中心の政権 16
	②自民中心+野党の一部で政権 54
	③今の野党中心の政権 20

衆院選挙で議席増を期待するのは

	与党が増加	野党が増加
毎日9.28	34	49
JNN10.16	35	47
NHK10.16	22	33
平均	30.3	43.0

衆院選挙の期待する結果

	政権継続	政権交代を
ANN10.2	44	38

衆院選挙の期待する結果

	自民中心	自民以外政権
FNN10.16	50.5	40.6
朝日10.19	37	36
平均	43.8	38.3

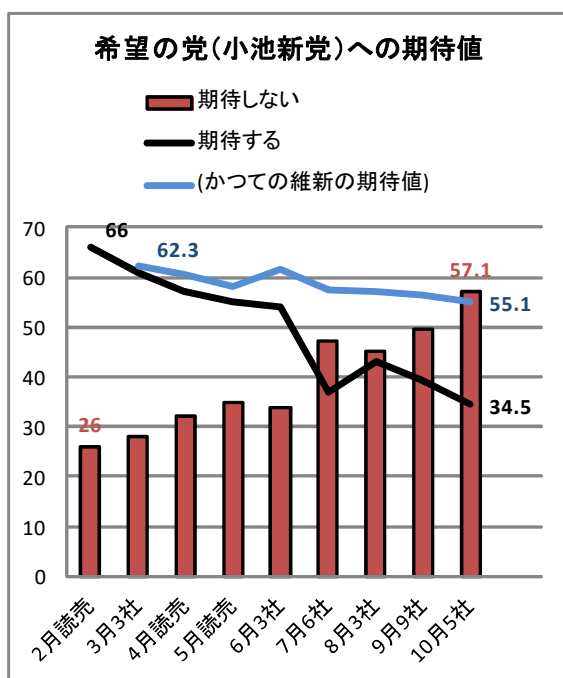
①安倍首相も意外な「自民大勝」だったろう。選挙結果は左表の通り「安倍一強打破」を狙った小池新党は50議席しか獲得できず、思いがけぬ立憲民主党が野党第一党に躍り出た（55議席）。公明（-5議席）、維新（-3議席）、共産（-9議席）も議席を減らし、自民と社民だけが現状維持。とりわけ希望の党と「住み分け」を狙ったはずの維新では「11月党大会で松井代表退任論」まで出ていると言われる。公明党の場合は議席減というだけでなく、比例票の大幅減（697万票）がショックを与えているようだ。自民党と選挙協力を始めた2000年衆院選以降初めて700万票を下回ったからだ。共産党も前回2014年衆院選で獲得した21議席を大幅に下回った（12議席。比例得票も606万→440万）。いずれも「（これまで自党を支持してくれていた無党派の一部が）立憲民主党に流れた」との見方をしている。

②直近の世論調査（左下表）をたどってみると、有権者は、安倍首相の突然の解散宣言に対しては「賛成が23.8%、反対64.8%」（9社平均）と圧倒的に拒否反応を見せていたし、今次衆院選では「野党が議席を増やすことに期待」が43.0%と、「与党の議席増に期待」30.3%を上回っていた（3社平均）。しかし一方で、政権選択に関しては「政権の継続」「自民党中心の政権」を望む声が「政権交代」「自民以外の政権」を上回り、「自民党に代わる政権交代」ということまでは望んではないことも明示されていた。その曖昧さは、読売の調査（10.9三択回答）で見ると、「自民党中心の政権（16%）でも、今の野党中心の政権（20%）でもなく、

自民党中心で+野党の一部で構成する政権（54%）を望んでいる」という心理に落ち着く。いわば「（安倍ではない）新しい与野党連立政権」ということのようなのだ。

2. 「新しい与野党連立」をめざした希望の党

③小池都知事のめざした新党・希望の党が結成当初の勢いを失った主因は、指摘されるように「民進党」議員の合流「排除」発言が契機となったことには間違いのないだろう。



希望の党が、前原氏の言う「安倍一強打破」という大義名分の下に民進党解党という乾坤一擲の奇策に打って出た割には、実は小池氏は「(安倍以外との) 与野党連立」をめざして、あらかじめ邪魔になりそうな民進リベラル派を外したその手法に対する“いかがわしさ”が世論の嫌悪感を増幅させてしまった。

世論調査では、民進党が分裂して「希望と立憲」とに分かれたことについては賛否が分かれたが (FNN と朝日)、民進党が解党して希望の党と合流することに対しては「評価する 24.2%・評価しない 66.3%」と反対が多数だった。希望の党への受け入れ・選別に対しても「全て受け入れるべき 9%」「理念政策で選ぶべき 63%」(読売) と選別することには肯定的反応のようだが、いわゆる踏み絵問題となった「政策で公認認定の判断」については、「妥当だ 9%・妥当でない 63%」(朝日) と正反

対の評価になっていた。決定的なのは小池知事の出馬問題で、ほぼ全ての調査で反対意見が圧倒したことだ。

左上図は都民ファーストの会以来の小池新党への期待値がどう変化したかを、かつての維新の会の結成過程と比較して見たものだ。昨年の都知事選、今年 7 月の都議選挙で大躍進を得た都民ファーストの会が、来るべき総選挙で小池新党を作り、華々しい国政進出を図る目論みだったことは既に与野党共に織り込み済みだった。しかし 7 月都議選をくぐって都民ファーストが国政進出を企図した頃から

希望の党(小池代表)に期待するか

	期待する	期待しない
ANN10.2	37	50
読売10.9	36	58
NHK10.10	36	57
FNN10.16	34.6	60.7
朝日10.19	29	60
平均	34.5	57.1

民進党－希望の党で立候補(合流)

	評価する	評価しない
読売9.30	24	63
共同10.1trend	28.1	62.3
NHK10.2	24	68
FNN10.16	20.7	71.8
平均	24.2	66.3

希望の党と立憲民主党に分かれたこと

	良かった	良くない
FNN10.16	52.1	33.3
朝日10.19	25	50

希望の党－民進党の受入は

	全て受入れを	理念政策で選
読売9.30	9	63

希望の党－政策で公認認定の判断

	妥当だ	妥当でない
朝日10.4	9	63

小池氏が知事を辞めて出馬することに

	肯定	否定
ANN10.2	18	72
朝日10.4	9	79
平均	13.5	75.5

希望の党－小池氏の代表・知事兼任

読売9.30 ①都知事に専念すべき 62

②知事と党代表の兼務容認 21

③衆院選挙に立候補を 12

読売10.9 ①都知事に専念すべき 71

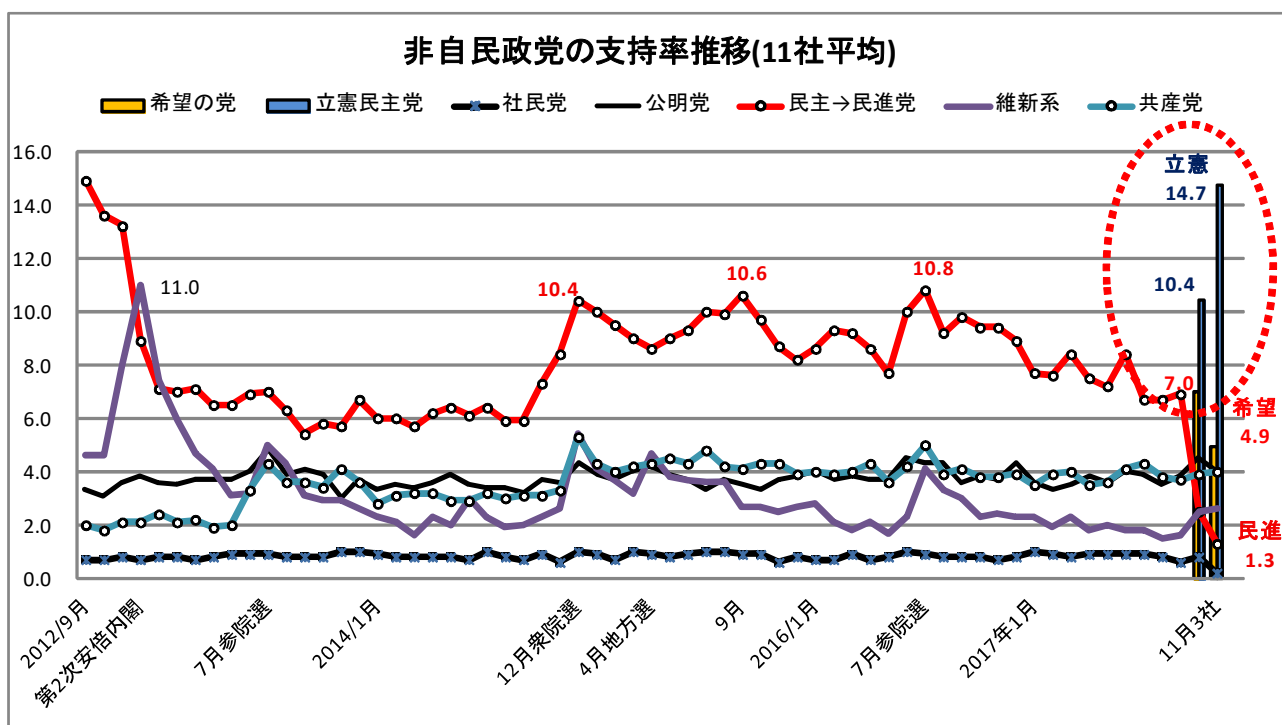
②知事と党代表の兼務容認 19

③衆院選挙に立候補を 7

から期待値が急落しはじめ、小池「国政新党」が具体的に意識された 9 月、希望の党結成を宣言した 10 月には「期待する 34.5%、期待しない 57.1%」という具合にまで落ち込んだ。これと比較して、かつての「大阪維新の会」が「日本維新の会」設立 (2012 年 9 月) に至るまでの 8 か月の期待値は、2012 年 2 月 66%から 9 月 55.1%と安定的に推移していた。そしてこの年の 12 月総選挙 (民主党政権崩壊) で日本維新の会は、54 議席 (+32 議席増)、比例 1226 万票と躍進した。結果だけを見れば、希望の党も 50 議席を獲得し (-7 議席減・民進出身が 59%)・比例 968 万票なのだが…。

3. 躍り出た立憲民主党…この5年余で初の有力野党復活への気配 (11月14.7%)

④選挙後も四分裂した旧民進党勢力の動向が注目されている。何よりも注目すべきは、民主党が政権下野して以降、低迷し続けてきた民主党を中心とした野党だったが、今回の選挙で躍り出た立憲民主党が、選挙後も、政権交代を狙える有力な党として定着できるかどうかということだ。次ページ図にあるように、旧民主党は政権下野後は、3 回だけ 10%の支持率を超えたことがあった (11 社平均で)。2014 年衆院選時、2015 年安保闘争時 (7 月



～9月)、2016年参院選時の3回だ。分裂・排除で少数になった立憲民主党だったが、選挙戦の最中の支持率は10.4%（公示後10社平均）を記録し、11月に入ってから3社平均で14.7%を記録している。希望の党は10月7.0%から11月4.9%へ、民進党は同じく2.5%から1.3%に下落した。

枝野代表の立憲民主党に期待するか

	期待する	期待しない
読売10.9	28	64
NHK10.10	30	63
朝日10.19	31	54
平均	29.7	60.3
朝日10.25	49	41

民進党出身議員は再合流した方が良いと

	そう思う	思わない
読売10.25	32	53

立憲民主党に期待すること

NNN10.29	①安倍内閣に協力 7.0
②安倍内閣のチェック 51.1	
③政権担当する政党に 11.4	
④何も期待しない 20.6	

立憲民主党の選挙結果は

NNN10.29	①ちょうど良い 39.5
②もっと多く 37.5	③もっと少なく 11.6

希望の党の選挙結果は

NNN10.29	①ちょうど良い 39.3
②もっと多く 21.6	③もっと少なく 24.7

希望の党がふるわなかった理由は

NNN10.29	①小池知事は知事に専念を 28.9
②小池知事の排除発言 27.1	
③民進党から多く立候補 15.2	
④他党より優れた政策でなかった 14.6	

今後の野党再編について

NNN10.29	①立憲中心に 39.9
②希望の党中心に 6.0	
③民進党の再結集で 7.5	
④今のままで良い 31.8	

立憲の支持率は（自民と比べると高いとは言えないが）、この5年余では初めての「野党としては比較的高い」記録だ。選挙戦の中では、これまでも無党派が政党選択を迫られることによって政党（とくに野党）支持率が上がることは見られたが、選挙後も継続されることはなかった。この勢いが続くか否か、極めて注目に値する情勢が生まれているのだ。

世論調査でも、立憲民主党に対する期待は、選挙期間中では「期待する 29.7%・期待しない 60.3%」

と決して高い値ではなかったが、選挙後の10.25朝日調査では「期待する 49%・期待しない 41%」と期待値が上昇した。民進党出身者が再合流することに対しては「そう思わない」と反対する答えが53%（賛成は32%：読売）。今後の野党再編についても「立憲を中心に」が39.9%と、「希望の党中心に」6.0%、「民進党の再結集で」7.5%をしのぐ高さになっている。

11月10日に予定されている希望の党の代表選挙には、旧民進党内部の事情を抱えたかのような対立が懸念されている。現行の安保法制を「容認しない」と明言する大串氏が出馬する構えで、代表選挙の帰趨によっては野党再編にも影響を与えてくることが予想されている。

4. 選挙結果を受けて…安倍三選、憲法・消費税・原発などは

⑤安倍内閣の支持率は、9月には「支持 43.0%・不支持 41.7%」と支持率が復調したものの、10

衆院選で与党2/3超の結果について

	良かった	良くなかった
読売10.25	48	36
NNN10.29	43.2	44.9
平均	45.6	40.5

衆院選で与党2/3超の結果について

朝日10.25	①ちょうど良い 32
②多すぎる 51	③少なすぎる 3
読売10.25	①与党がもっと増を 9
②野党がもっと議席増を 47	
③ちょうど良い 38	
日経11.3	①ちょうど良い 32
②もっと少なくて良かった 47	
③もつと多くても良かった 14	
共同11.3	①良かった 32.5
②良くなかった 28.7	
③どちらとも言えない 37.4	

憲法の改正について

	賛成	反対
JNN10.16	41	43

安倍首相の9条改正提案(考え方)に

	賛成	反対
読売10.9	48	35
NHK10.10	32	21
読売10.12	35	42
朝日10.19	37	40
朝日10.25	36	45
読売10.25	49	39

安倍首相の9条改正案(自衛隊明記)

	賛成	反対
日経11.3	44	41
共同11.3	38.3	52.6
平均	41.2	46.8

安倍首相の下での憲法改正に

	賛成	反対
共同11.3	39.4	50.2

9条に自衛隊を明記することに

	賛成	反対
JNN10.16	36	47

憲法を改正して自衛隊を明記することに

	賛成	反対
NHK10.16	29	22

※どちらとも40

9条を維持した上で自衛隊を明記することに

	賛成	反対
FNN10.16	53.5	35.8

自民党の勝因は

読売10.25	①安倍首相への期待 6
②与党としての実績評価 10	
③他の党よりましだと思われた 36	
④民進党分裂で野党候補乱立 44	

衆院選後、安倍首相の継続に

	賛成	反対
毎日10.16	37	47
朝日10.25	37	47
平均	37.0	47.0

安倍首相の3選継続に

	賛成	反対
日経11.3	44	46
読売11.3	43	46
共同11.3	41.0	51.2
平均	42.7	47.7

消費税(201910)増税予定通り実施に

	賛成	反対
毎日10.16	35	44
JNN10.16	45	50
朝日10.19	37	55

安倍首相が消費税見直しを提起したこと

	評価する	評価しない
NHK10.2	50	44
朝日10.4	42	40
NHK10.10	50	42
NHK10.16	48	45

読売10.9 ①首相方針に賛成 25

②増税分は国の借金に 32
③消費税引き上げに反対 38

読売10.25 ①首相方針に賛成 31

②増税分は国の借金に 29
③消費税引き上げに反対 37

消費税増税実施と使い道変更

	賛成	反対
日経11.3	56	34

原発のこれからについて

JNN10.16 ①ただちにゼロに 11

②徐々に減、ゼロに 53
③徐々に減、残す 30
④新設も可 4

原発をゼロにすべきか、使い続けるべきか

	ゼロに	使い続ける
朝日10.19	55	29

月選挙戦の期間中は、「支持 41.8%・不支持 44.0%」と再び逆転してしまった。11月はまだ3社だが「支持 51.8%・不支持 38.8%」と、支持率が回復している。

与党が2/3超と圧勝した選挙戦結果についても、「良かった 45.6%・良くなかった 40.5%」と肯定的評価が高いようなのだが、三択回答を見てみると「多すぎる 51%」(朝日)、「野党がもっと議席を 47%」(読売)、「(与党は)もっと少なくて良かった 47%」(日経)

などと、世論は必ずしも与党圧勝を喜んではいない様子だ。

来年9月に予定されている安倍首相の三選については、選挙前・後ともに5割近くが反対という態度で固まっている。

⑥安倍首相がこだわる憲法改正については、一般論として聞いた「憲法改正にいて」は賛成 41%・反対 43%というJNNの調査があるが、「9条2項を残して自衛隊を明記する」という9条改正案については反応が複雑だ。

「安倍首相の提案する…」という但し書きの付いた設問でも、左表にあるように各社によって賛否がバラバラだ。読売に至っては、10.9報道は「賛成 48%・反対 35%」だったものが、10.12報道では「賛成 35%・反対 42%」と逆転し、さらに選挙後の10.25報道では「賛成 49%・反対 39%」と

戻ってしまった。11月に入ってから2社調査(日経・共同)では「賛成 41.2%・反対 46.8%」と反対多数である。ましてや「安倍首相の提案する」という但し書きのない一般的な聞き方「憲法を改正して自衛隊を明記する」ということだけだとバラバラな反応になっている。

⑦あまり争点にはならなかったようだが、消費税に関しては、「予定通り増税を実視すること」には反対が多数で、「使い道を見直す」ことについては賛成が多いというのが世論調査の結果だ。

希望の党は結党に当たって「原発ゼロ」を掲げたが、これも余り争点化したとは言えないだろう。時期にこだわらなければ「原発ゼロ」は圧倒的多数の支持があるし、「再稼働反対」も現地を除けば過半数は世論化していると言って良い(ただしこの調査は今年3月

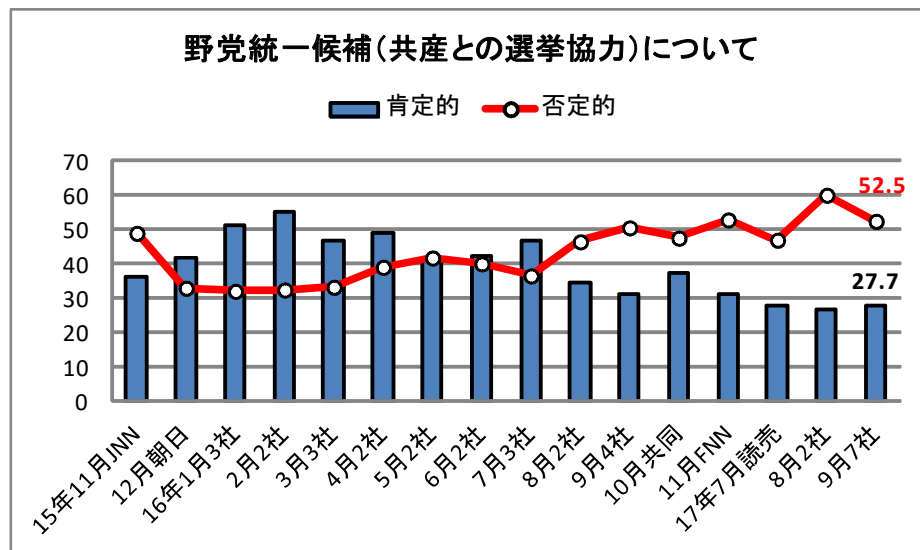
の2社調査での「賛成 26.0%・反対 54.5%」以来、二択回答の調査は報告されていない。

5. これからの野党選挙共闘（共産党を含む）の課題は…

⑧今回の希望の党への合流問題は、前原民進党代表にとっては、来るべき衆院選を控えて、「共産党を含む野党選挙協力」で挑むのか、それとも都知事選・都議選で勢いをつけてきた「非自民・非共産の小池新党」に乗るのかという判断だった。かれは「乾坤一擲」と、

後者での大博打に賭けて大負けしてしまったが、政権交代に挑む野党にとって、課題が無くなったわけではない。

左図は、これまでの共産党を含む野党の選挙協力（共闘）についての調査データをグラフ化したものだ。詳しくは別の機会に論ずる予定だが、昨年7月参院選が終わってからは、聞き方も「野党統一候補



補で戦うこと」への賛否から、「共産党を含む野党の選挙協力」という聞き方に変わってきているくらいはあるものの、全国的な世論は、これまでの共産党を含む選挙協力に対しては否定的な反応が強いままだ。この課題にどう挑むのか、新しい知恵と努力が求められているようなのだが…。

内閣支持率

政党支持率

10月	支持	不支持	10月	自民	民進	希望	立憲	公明	共産	社民	維新	自由	こころ	支持なし
日経10.12	37	48	日経10.12	39		13	11	5	5	1	3	0	0	11
毎日10.16			毎日10.16	29		9	10	5	4	1	3	1	0	28
読売10.25	52	37	読売10.25	43	1	5	14	4	3	1	2	0	0	24
朝日10.25	42	39	朝日10.25	39	0	3	17	4	3	1	2	0	0	21
共同10.1tr2	40.6	46.2	共同10.1tr2	36.2	6.5	10.8		4.7	4.7	0.7	3.1	0.5	0.0	
時事10.16	37.1	41.8	時事10.16	23.9		2.6	2.7	3.6	2.5	0.0	1.4	0.0	0.0	57.2
NHK10.16	39	42	NHK10.16	32.8		5.4	6.6	4.3	3.4	0.6	1.7	0.2	0.1	34.0
JNN10.16	48.7	49.2	JNN10.16	32.8	1.2	5.2	7.3	3.8	3.2	0.5	1.8	0.1	0.1	38.1
ANN10.2	36.9	46.3	ANN10.2	39.6	7.1	9.7		4.6	5.8	1.9	2.8	0.6	0.0	28.0
FNN10.16	42.5	46.3	FNN10.16	34.5	0.7	9.5	11.6	5.4	3.6	0.5	3.2	0.2	0.0	27.9
NNN10.29	41.7	44.2	NNN10.29	36.5	0.7	4.2	13.8	4.7	4.5	0.6	3.1	0.1	0.0	30.0
平均	41.8	44.0	平均	35.1	2.5	7.0	10.4	4.5	3.9	0.8	2.5	0.2	0.0	29.9
NHK10.2	37	44	NHK10.2	30.8	3.9	5.4		3.8	3.3		1.0			40.4
読売10.9	41	46	読売10.9	33	1	8	4	3	3	0	1	0	0	38
時事10.16	37.1	41.8	NHK10.10	31.2	1.6	4.8	4.4	3.8	2.7	0.5	1.3	0.0	0.0	39.1
朝日10.4	40	38	朝日10.4	30	2	5	3	5	2	0	1	0	0	30
朝日10.19	38	40	朝日10.19	32	1	6	7	4	3	1	2	0	0	27
読売10.12	37	48	読売10.12	36		10	8	5	4	0	2	0	0	21

※9.25希望の党結成 ※9.28衆議院解散、民進が希望と合流決定 ※10.3立憲民主党結成

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)